

千葉県議会議員

ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

政務調査報告ニュース 2011年7月号

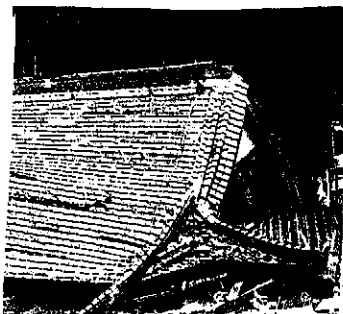
TEL & FAX 047-445-9144

後援会ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

私たちに出来ることは・・・



福島県南相馬市を訪れ(6/17)、『千葉西支援ネットワーク』の支援物資、下着 350 枚・上掛け等 8 枚を届けると同時に今後の支援の仕方を、村田副市長・大谷市長公室長と話しました。立ち入り禁止の警戒地域から特定避難勧奨地点



桃浦の潰れてしまった寺

まで、五つの区域に分れてしまっている行政の課題は「コミュニティと自立」と副市長が語りました。作付け中止による農業の疲弊、野菜不足に対しどう支援できるのか？原発事故の放射能汚染の中での子どもたちへの支援の仕方は？課題はたくさんあります。

翌日は宮城県石巻市に入り現地ボランティアセンターで「人手が足りません。自転車・殺

虫剤・野菜が必要です」といった率直な声を聞く事が出来ました。

また、蛤浜の集落では亀山さんからの「夏から牡蠣養殖の仕事を始めたい。自分たちの手でトイレも風呂も造って助け合っている」という元気な話に私たちが勇気づけられました。

3 か月たっても瓦礫や打ち上げられた船など、全く手がつけられていないといった被災地の現状。原発事故の放射能汚染が重くのしかかっている(伊達市霊山パークは2.29マイクロシーベルト/h)福島の被災地。この地の生活をどう再建するのか？支援できるのか？私たちは動けるところから動きましょう！ダラダラしてる政府につきあってはられません。助け合い・分かち合いの社会と政治を！

* 鎌ヶ谷市は石巻ヘリサイクル自転車約 100 台を送ることを準備中

県議会 6 月定例会

6 月 15 日～7 月 8 日

5 月補正に続いて 328 億 1900 万円の補正予算。放射線量測定器 35 台購入費 2100 万円。電力供給不足対策の非常用自家発電機設置補助金として 3 億 7000 万円。太陽光発電設備補事業 1 億円。被災事業者への支援として 307 億円が組まれましたが、原発事故への取り組みとして脱原発への方向性と施策が出されていません。

太陽光発電へ県独自に 1kw 当たり 2 万円、上限 7 万円が新設されます。国の補助 1kw 当たり 4.8 万円と更に鎌ヶ谷市の助成を加えた形が、各個人への助成となるはずです。



6.11 脱原発 100 万人アクション

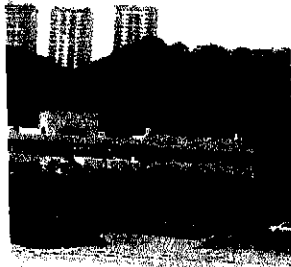
3.11 から 3 ヶ月。福島第一原発事故は収束せず。これまで多くの市民・学者が指摘した原発の危険性を無視し、政・官・財・マスコミ・教育一体となって進めてきた「原発安全神話」が崩壊しました。全国で脱原発の行動がとられました。芝公園では 6000 人を超える市民が「原発はいらない！子どもを守れ！」と訴えながらデモをしました。松戸ではシール投票が行われ(6/12)脱原発 751 票・原発維持 54 票でした。



国定公園の隣に産廃処分場をつくるなんて!

勝浦市鶴原地区に産業廃棄物最終処分場(管理型)の建設計画があがっています。私たち「市民ネット・社民・無所属」会派4人は住民の方の案内で調査をしました。

こんな素晴らしい海と森の中に処分場をつくるなんて許せない!と反対の声。街中“反対”の幟と看板がいっぱいです。



予定地は勝浦海中公園「鶴原理想郷」のある鶴原海水浴場から500m、清海小学校・鶴原保育園から400m、武蔵学園鶴原寮から200mの谷あいです。更に上200mのところには簡保の宿があり、300mのところには東急リゾートタウンがあります。傾斜緑地に処分場がつけられたら禁漁区になっているアワビ・伊勢えびの海に汚水が流れ込み、周辺に悪臭を放ちます。

そして毎日10tトラック20台の騒音と振動。漁業も民宿などの観光業も大きな被害をこうむります。

反対住民の会吉野会長は「6/9 県庁で環境部長に署名(31164)と要望書を出したが部長の回答は『法律にのっとって行うだけ』というのみで」と不安な気持ちを述べました。

*県議会は今議会で「不許可の請願」を採択

千葉鎌ヶ谷・松戸 464号線



~~~~~陥没状態改修工事~~~~~

貝柄山公園入り口地先の道路は、464号国道ですが県の管理する道路。道路の中心線に沿って延長約50m陥没状態。市民から「直して欲しい」との声。東葛土木事務所に6/1電話し修繕を要請し、6月3日改修工事が開始されました。



県道の管理は東葛土木事務所です。先般も鎌ヶ谷市内の県道整備について話し合いました。デコボコを直すといった個々の問題には答えが出てきますが、全体の整備構想をもっていないのは問題です。

液状化被害・津波被害

「東日本大震災復旧・復興対策特別委員会」の委員として5/31・6/2の両日「我孫子・浦安・習志野・千葉」「香取・旭・山武・九十九里」の液状化と津波の被害を調査しました。

我孫子市は布佐地区だけでも全壊116棟を含めて280棟が被害。地区全体が1m以上沈下、外観では全く被害が無い様でも、建物内は吹き上げられた土砂で壊滅的状況でした。(この状態では国の法律での救済対象にならない問題が出て来ました)

浦安市・習志野市などでは、下水施設が被害を受け汚水の処理に難儀しています。また香取市の観光地である佐原地区の小野川は液状化の土砂で埋まってしまい、4mも川幅が狭くなる平行移動を起こしていました。地盤沈下したりして公共インフラはズタズタでした。液状化対策をした復旧・復興が望まれます。



委員会での視察

津波被害は旭市において多くの死者(13名)を出しました。3万㎡に及ぶ広い範囲で家屋が流されてしまっていました。瓦礫の処理と津波対策を含めた今後の街づくりが課題です。

放射能汚染による野菜の出荷停止があった、旭市・香取市等で何の聞き取り調査も出来なかったのは残念でした。今後の委員会の中で再度調査すべきと思われます。

鎌ヶ谷市の

情報の窓

防災行政無線の放送内容を電話で確認できるようにになりました。

0800-8002760(通話料金無料)

お知らせ

★ふじしろ政夫県政報告会 : 放射能汚染など

7月30日(土) 13:30~ まなびい

★ノーモア広島、長崎“献花と祈念の集い”

8月6日・8月9日 市役所

★法律弁護士無料相談 要予約 ふじしろ迄

7/23(土)・9/24(土)・11/26(土) 13:00~